

2026年2月27日
株式会社三菱UFJ銀行

株式会社トリドールホールディングスと「人的資本経営評価型私募債」を成約

株式会社三菱UFJ銀行（取締役頭取執行役員 ^{はんざわ じゅんいち} 半沢 淳一）は、お客さまの人的資本経営の取り組みを評価する融資商品である「人的資本経営評価型私募債（以下 本商品）」の取り扱いを行っております。

本商品では、人的資本経営評価を取得し、一定基準以上のスコアを取得された企業については、「人的資本経営評価型私募債」としての実行及び対外的な発信が可能となります。なお、人的資本経営評価においては、株式会社三菱UFJフィナンシャル・グループ（以下 MUFG）の一員である三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社（以下 MURC）をサービス提供者、サステナブルファイナンスの評価を行う株式会社日本格付研究所（以下 JCR）をサポート企業としております。MURCが人的資本経営に関する独自のチェック項目に基づき、お客さまの人的資本経営に対する取り組みを評価、スコアリングを付与するとともに、JCRとの連携で客観的な評価を実施し、課題などもお客さまにフィードバックします。

株式会社トリドールホールディングス（代表取締役社長 ^{あわた たかや} 粟田 貴也）は、本商品にて30億円の資金調達を2026年2月に実施いたしました。
また、MUFGの人的資本経営評価において、「特に進んでいる人的資本経営」との評価であるAランクを取得しました。

同社は、先進的なグローバルフードカンパニーとして、昨今注目されている人的資本経営をさらに深めて、「従業員の“心”の幸せ」と「お客様の“心”の感動」を共に重要な資本ととらえ、どちらの“心”も満たし続けることで唯一無二の事業成長を実現する経営思想「心的資本経営」を推進しております。

【高く評価を受けた人的資本経営に関する取り組み】

- ✓ 経営戦略 ～ビジョンと方針～
会社独自の考え方として、従業員の幸福がお客様の感動に繋がり、繁盛に繋がるという考え方の「心的資本経営」を定義し、公表している。
- ✓ 経営戦略 ～人材戦略と経営戦略の連動～
会社の中長期的な成長の為に必要となるポジションを特定し、その領域に対してギャップを埋める為の取り組みを実施している。更に、人材に関連するKPI・目標を設定し、達成に向けた具体的な施策を展開し、経営層含め評価を実施している。
また、役員報酬に関わる指標のなかにて「従業員エンゲージメント等の状況」が組み込まれていることを公表している。
- ✓ 育成 ～スキルと経験～
従業員一人一人のパフォーマンスとキャリア開発について定期的な面談とレビューを実施し、面談履歴の管理等にシステムを利用した仕組みも構築している。全従業員が持ち続ける普遍

的な行動や考え方、成長哲学である「トリドール3頂」が制定されており、この哲学に基づき成長できるよう人事評価や人材育成が運用されている。

- ✓ 従業員エンゲージメント ～エンゲージメント向上施策～
従業員エンゲージメントの向上の為に、多岐にわたる施策を講じ、結果がエンゲージメントスコア（ハピネススコア）に反映されることで、PDCAを回す体制を構築している。
- ✓ 流動性 ～人材確保と定着の取り組み～
専門委員会を発足し、多様な人材が働きやすい職場作りの実現にむけて、働き方改革を実施している。離職率のKPIを設定し、効果の確認と結果を公表している。
- ✓ ダイバーシティ ～ダイバーシティを推進する為の取り組み～
従業員及び経営層の多様性に関する情報を公開し、社内のダイバーシティを推進する為の取り組みとして、目標の設定や勉強会を実施している。出産・育児休業制度の管理職に対する啓発や、時短勤務など柔軟な勤務を検討するなど復職率を高める施策を講じ、公表することで、従業員が長く働き続ける為の環境づくりを推進している。
- ✓ コンプライアンス/倫理 ～方針・体制～
「企業倫理憲章」および「トリドール行動基準」をコンプライアンスの基本方針として公表し、専門委員会のもとで「ハンドブック」の作成等により周知徹底・教育を図ることを公表している。

MUFGは、「MUFG Way」の中で「世界が進むチカラになる。」を存在意義（パーパス）と定め、持続可能な環境・社会の実現に向けて、お客さまをはじめとする全てのステークホルダーの課題解決のための取り組みを進めています。引き続き、お客さまの人的資本経営の取り組みを支援し持続的な成長を後押しすることで、環境・社会課題の解決に貢献してまいります。

以 上